

平成27年度 府立城陽高等学校 学校経営計画(スクールマネジメントプラン) 計画段階

学校経営方針(中期経営目標)	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点(短期経営目標)
<p>努力する心をはぐくみ、知・徳・体の調和のとれた心豊かでたくましい生徒の育成を目指す。あわせて、自ら進路を切り拓く能力や態度を養う。また、あらゆる教育活動を通して、生命と基本的人権を尊重する態度や実践力を育成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生としての身だしなみやマナーに重点を置いて指導し特に女子生徒のスカート丈やネクタイ・リボンの着用の改善に成果をあげた。今後も規範意識及び社会性を醸成するために教職員の共通理解の下で統一した指導を継続する必要がある。 ・ 授業規律の確立に重点を置き、良好な教育環境のもととなる「穏やかなクラスづくり」にも一定の成果をあげたが、学力の向上にはほど遠い実態である。「分かりやすい授業」とともに「力をつける授業」を一人ひとりの教員が意識した上で、教科としての取組が必要である。 ・ 「TAG城陽」の取組を地域の人材を生かして一層発展させ生徒に「なりたい自分」を考えさせ、生徒の進路意識を醸成するとともに、高校卒業後の進路保障の取組の強化が必要である。 ・ 1年生の全員部活動等加入・活動を推進するとともに、Joyo Advance Clubの育成に努め、部活動の一層の活性化に向けて競技力の向上のみならず、学校全体・地域との関わりを持った具体的な取組を実施する必要がある。 	<p>地域から信頼される地元の公立高校として、生徒一人ひとりが夢と目標を持って、生き生きと過ごすことができる輝きある学校づくりをすすめる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 厳しさの中に愛情のある指導によって心身の健全な発達を促し、心豊かでたくましく輝きある高校生を育成する。 2 基礎基本を徹底した「わかる授業」を基盤に生徒ひとり一人が「わかる喜び」を実感できる授業を実践し、個に応じた「確かな学力」を身に付けさせる。 3 生徒一人ひとりが、将来の「なりたい自分」を考え、学び、行動する習慣づくりに取り組み、より高い夢ある進路希望の実現及び自立した人間の育成を目指す。 4 部活動の活性化をはじめ学校生活全体を充実させ、生徒が3年間の自己の成長を実感し、主体性を持って社会的に自立できる力を身に付けさせる。